

平成30年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 西東京市議会公明党)

経費項目	視察研修費		
整理番号	月日	支出額(円)	支出内容
1	7.12-13	50,362	議会運営員会行政視察同行旅費経費
2	7.31-8.1	163,178	会派行政視察旅費経費(大分県豊後高田市、杵築市他)
3	10.11-12	42,386	全国都市問題会議参加旅費経費
4	11.14-15	32,354	全国市議会議長会研究フォーラム参加旅費経費
小計			備考
合計		288,280	

議会運営委員会視察(藤田 美智子議員分) 【政務活動費】						
視察期間	平成30年7月12日・13日					
視察先	滋賀県 大津市					
視察目的	議会BCPIについて					
視察先	兵庫県 加古川市					
視察目的	議会事務事業評価について					
日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
7月12日	東伏見	高田馬場	西武新宿線	13.3	237	全てIC乗車券利用 ※237円は集金に含まず
	高田馬場	東京	JR山手線	14.4	17,280	往復割引乗車券 東京都区内⇄加古川
	東京	京都	新幹線	513.6	5,390	特急券・座席指定券 往復割引乗車券を含む
	京都	大津京	JR湖西線	10.9	240	往復割引乗車券に含まず
	大津京	大津	JR湖西線・琵琶湖線	9.9	200	往復割引乗車券に含まず
				日計	562.1	23,347
7月13日	大津	京都	JR湖西線	10.0	200	往復割引乗車券に含まず
	京都	加古川	JR湖西線他	115.0	0	往復割引乗車券を含む
	加古川	西明石	JR神戸線	16.3	0	往復割引乗車券を含む
	西明石	東京	新幹線	612.3	5,810	特急券・座席指定券のみ
	東京	高田馬場	JR山手線	14.4	0	往復割引乗車券を含む
	高田馬場	東伏見	西武新宿線	13.3	237	※237円は集金に含まず
				日計	781.3	6,247
小計				1,343.4	29,594	
日当	2,500円 × 2日				5,000	※日当は集金に含まず
宿泊費	15,768円 × 1日				15,768	(1泊2食付き)
合計					50,362	

京王観光立川支店に44,248円(宿泊+往復乗車券+新幹線往復)支払い済み

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

領収証 Receipt

No.05C-032506
G000229792



西東京市議会公明党 様

¥44,248-

但し、政務活動費

印紙税申告納
付につき四谷
税務署承認済

領収内訳 2018年07月03日 上記正に領収いたしました。
現金 44,248円 京王観光株式会社
取扱窓口：立川支店
TEL. : 042-525-3991

部署印	扱印
	

旅 京王観光

※500円以内の取引・取消で現金が必要な場合は、本領収証を必ずご持参ください

部署印のないものは無効です

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。


No	見積書十領収書あて名	人数	往復運賃(割引後) 東京⇄加古川	往路特急・座席指定券 7/12 ひかり465号(東京-京都)	宿泊費 ホテルトコノ大津・京都	復路特急・座席指定券 7/13 ひかり474号(西明石-東京)	合計金額	備考
2	西東京市議会公明党	1	17,280	5,390	15,768	5,810	44,248	政務活動費

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 1,114 円
- 2 支 払 先 西武鉄道、JR各社
- 3 件 名 議会運営委員会行政視察同行旅費経費
- 4 支払年月日 平成30年7月12・13日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 西東京市議会公明党
代 表 者 佐藤 公男 

視察報告書

視察日 平成30年7月12日(木曜)～13日(金曜)

視察先 滋賀県大津市、兵庫県加古川市(議会運営委員会の特定期間調査に同行する)

視察者 西東京市議会公明党 藤田美智子

○大津市視察(1日目)

【テーマ】「議会BCPについて～二元代表制を災害から守るために～」

【大津市】人口340,972人/140,855世帯/面積46,451平方キロメートル

明治31年市制施行。平成10年10月に市制100周年、本年は市制120年に当たる。京都、奈良に次ぐ文化財の宝庫であり、琵琶湖、比叡山など多くの観光資源に恵まれている。

【視察目的】大津市議会策定の業務継続計画「大津市議会BCP」について説明をいただき、訓練内容、災害時の発動と課題、見直し等について学ぶ。

【主な視察内容】

1. 災害時の議会活動(弱み・強み・役割責任)について
 - ・議会は合議機関のため、意思決定に時間がかかる。災害時の指揮命令系統や執行権がない。
 - ・二元代表制は平時だけのものか
 - ・執行部が専決処分を乱発する法的根拠は
 - ・災害時の議会は無力、不要か
 - ・現場対応責任者ではないので、復旧復興の議論に専念できる。
 - ・行政、住民、専門家をつなぐ複数の政治家で構成されており、地元、国、県の役割を担うことができる。
 - ・執行部に個別案件を持ち込まない。地元の司令塔の役割担う。復旧復興へ向けた議論を主導。
 - ・国、県への要望活動を議員だけで行う。

2. 大津市議会BCPについて

平成26年3月、大規模災害など、非常時に行う議会、議員の役割、行動指針を定めた業務継続計画(BCP)を、地方議会として初めて策定。同年12月、携帯ハンドブック、安否確認カード作成。平成27年3月、大津市災害等対策基本条例を制定。執行部の災害対策会議が設置される場合に発動となる。

議会対策会議は、正副議長、各会派代表者で構成する。市の災害対策本部設置後、速やかに設置し、議会としての意思決定前の事前調整、協議の場となる。災害対応に実質的かつ主体的に当たるのは行政であり、行政が初動及び応急対応に専念できるようにする。議会は自らの役割を踏まえ、災害情報の迅速な収集等にあたり、議会内の体制整備と合わせて市との協力、連携体制を作る。

3. 発動、検証、見直し

- ・平成26年8月10日、台風11号による神の災害対策本部設置に伴い、初の議会BCPを発動。
- ・事務局職員の安否確認作業の遅れ→各種災害に応じた作業手順、メールひな形を作成し、事務局職員で共有
- ・災害対策会議メンバーの参集の遅れ→議員の役割、参集基準を再確認
- ・組織名称及び組織体制の改正(議会事務局から議会局へ)
- ・消防団活動に関する規定の追記、職員の行動基準の追記
- ・タブレット端末の活用、安否状況確認カードの追記
- ・備蓄品等の整備状況を追記

○加古川市視察(2日目)

【テーマ】「議会事務事業評価について」

【加古川市】人口266,937人/109,766世帯/面積138.48平方キロメートル

【視察目的】加古川市議会が平成27年度に実施の議会による事務事業評価と次年度予算への提言について学ぶ。

【主な視察内容】

1. 実施時期と対象事業（15事業）

・9月定例会中の常任委員会で決算審査として実施。事務事業評価型決算審査を先に実施し、その後通常型決算審査を実施。

・総務委員会→職員研修事業、防災・生活情報ネットワーク事業、男女共同参画推進事業、AED整備事業、特別支援教育児童生徒サポート事業

・福祉環境委員会→人間ドック助成事業・後期高齢者医療健康審査事業、住宅改修助成事業、福祉バス運行事業、ファミリーサポートセンター事業、環境衛生事業

・建設経済委員会→市民活動バックアップ補助金交付事業、加古川市農林漁業祭事業、放置自転車指導撤去返還事業、都市景観推進事業

2. 評価区分

・平成27年度→廃止/抜本的見直し/要改善/現行通り/拡充

・平成28年度（議会独自の評価区分を導入）→廃止/縮小/現行通り/拡充

3. 常任委員会での審査方法

・評価型を実施後、通常型を実施する。通常型においては、評価型対象事業は質疑しない。

・理事側への質疑後、各議員は議会事務事業評価シートに記入し、議員で討議し委員会でまとめる。

4. 翌年度以降の対象事業

・平成28年度→少年補導・相談事業(総務教育委員会)/地域保健医療情報システム事業(福祉環境委員会)/棋士のまちPR事業(建設経済委員会)

・平成29年度→児童クラブ運営事業(総務教育委員会)/緊急通報システム運営管理事業(福祉環境委員会)/観光課事務所維持補修事業(建設経済委員会)

・平成30年度(予定)→提案推進事業(総務教育委員会)/病児・病後児保育事業、看護師配置事業(福祉環境委員会)/権現総合公園キャンプ場運営事業(建設経済委員会)

以上

西東京市議会公明党 会派視察(佐藤議員分)						
視察期間	平成30年7月31日(火)～8月1日(水)					
視察先	①大分県豊後高田市 「学びの21世紀塾について」					
視察目的	②大分県杵築市 「地域ケア会議について」					
	③福岡県吉富町 「コンパクトな女子集客のまち推進計画について」					
日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
7月31日	ひばりヶ丘団地西口	高田馬場	西武バス	1.8	175	
	田無	高田馬場	西武新宿線	15.6	237	
	高田馬場	品川	JR山手線	13.3	194	
	品川	羽田空港 国内線ターミナル	京急本線	14.5	407	
	羽田空港	大分空港	JAL661便	928.0	13,990	
	大分空港	豊後高田 バスターミナル	快速リムジンバス		1,400	
	豊後高田	豊後高田市役所 真玉庁舎	送迎	—	—	
	豊後高田市役所 真玉庁舎	宇佐	送迎	—	—	
	宇佐	杵築	JR日豊本線	23.4	460	
	杵築駅前	杵築 バスターミナル	国東観光バス	5.3	290	
	杵築 バスターミナル	宿泊先	徒歩	—	—	
	8月1日	宿泊先	杵築市役所 山香庁舎	送迎	—	—
杵築市役所		杵築	送迎		—	
杵築		中津	JR特急ソニック28号	47.4	940	特急料金1,140円を除く
中津		吉富	JR日豊本線	1.8		
吉富		吉富町役場	徒歩	—	—	
吉富町役場		吉富	徒歩	—	—	
吉富		行橋	JR日豊本線	25.0	2,130	特急料金1,450円を除く
行橋		博多	JR特急ソニック42号	92.2		
博多		福岡空港	福岡市地下鉄空港線	3.3	260	
福岡空港		羽田空港	スターフライヤー52便	1041.0	19,490	
羽田空港 国内線ターミナル		品川	京急本線	14.5	407	
品川		高田馬場	JR山手線	13.3	194	
高田馬場		田無	西武新宿線	15.6	237	
田無		ひばりヶ丘団地西口	西武バス	1.8	175	
小 計					40,986	特急料金合計 2,590円を除く
日 当	2,500 円 × 2 日				5,000	
宿泊費 (1泊朝食付き)	8,640 円 × 1 泊				8,640	
合 計					54,626	

西東京市議会公明党 会派視察(大林議員分)						
視察期間 平成30年7月31日(火)～8月1日(水)						
視察先 ①大分県豊後高田市 「学びの21世紀塾について」						
視察目的 ②大分県杵築市 「地域ケア会議について」						
③福岡県吉富町 「コンパクトな女子集客のまち推進計画について」						
日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
7月31日	田無	高田馬場	西武新宿線	15.6	237	
	高田馬場	品川	JR山手線	13.3	194	
	品川	羽田空港 国内線ターミナル	京急本線	14.5	407	
	羽田空港	大分空港	JAL661便	928.0	13,990	
	大分空港	豊後高田 バスターミナル	快速リムジンバス		1,400	
	豊後高田	豊後高田市役所 真玉庁舎	送迎	—	—	
	豊後高田市役所 真玉庁舎	宇佐	送迎	—	—	
	宇佐	杵築	JR日豊本線	23.4	460	
	杵築駅前	杵築 バスターミナル	国東観光バス	5.3	290	
	杵築 バスターミナル	宿泊先	徒歩	—	—	
8月1日	宿泊先	杵築市役所 山香庁舎	送迎	—	—	
	杵築市役所	杵築	送迎	—	—	
	杵築	中津	JR特急ソニック28号	47.4	940	特急料金1,140円を除く
	中津	吉富	JR日豊本線	1.8		
	吉富	吉富町役場	徒歩	—	—	
	吉富町役場	吉富	徒歩	—	—	
	吉富	行橋	JR日豊本線	25.0	2,130	特急料金1,450円を除く
	行橋	博多	JR特急ソニック42号	92.2		
	博多	福岡空港	福岡市地下鉄空港線	3.3	260	
	福岡空港	羽田空港	スターフライヤー52便	1041.0	19,490	
	羽田空港 国内線ターミナル	品川	京急本線	14.5	407	
	品川	高田馬場	JR山手線	13.3	194	
	高田馬場	田無	西武新宿線	15.6	237	
小 計					40,636	特急料金合計 2,590円を除く
日当	2,500 円 × 2 日			5,000		
宿泊費 (1泊朝食付き)	8,640 円 × 1 泊			8,640		
合 計					54,276	

西東京市議会公明党 会派視察(藤田議員分)						
視察期間 平成30年7月31日(火)～8月1日(水)						
視察先 ①大分県豊後高田市「学びの21世紀塾について」						
視察目的 ②大分県杵築市 「地域ケア会議について」						
③福岡県吉富町 「コンパクトな女子集客のまち推進計画について」						
日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
7月31日	東伏見	高田馬場	西武新宿線	13.3	237	
	高田馬場	品川	JR山手線	13.3	194	
	品川	羽田空港 国内線ターミナル	京急本線	14.5	407	
	羽田空港	大分空港	JAL	928.0	13,990	
	大分空港	豊後高田 バスターミナル	快速リムジンバス		1,400	
	豊後高田	豊後高田市役所 真玉庁舎	送迎	—	—	
	豊後高田市役所 真玉庁舎	宇佐	送迎	—	—	
	宇佐	杵築	JR日豊本線	23.4	460	
	杵築駅前	杵築 バスターミナル	国東観光バス	5.3	290	
	杵築 バスターミナル	宿泊先	徒歩	—	—	
8月1日	宿泊先	杵築市役所 山香庁舎	送迎	—	—	
	杵築市役所	杵築	送迎	—	—	
	杵築	中津	JR特急ソニック28号	47.4	940	特急料金1,140円を除く
	中津	吉富	JR日豊本線	1.8		
	吉富	吉富町役場	徒歩	—	—	
	吉富町役場	吉富	徒歩	—	—	
	吉富	行橋	JR日豊本線	25.0	2,130	特急料金1,450円を除く
	行橋	博多	JR特急ソニック42号	92.2		
	博多	福岡空港	福岡市地下鉄空港線	3.3	260	
	福岡空港	羽田空港	スターフライヤー52便	1041.0	19,490	
	羽田空港 国内線ターミナル	品川	京急本線	14.5	407	
	品川	高田馬場	JR山手線	13.3	194	
	東伏見	田無	西武新宿線	13.3	237	
小 計					40,636	特急料金合計 2,590円を除く
日当	2,500 円 × 2 日			5,000		
宿泊費 (1泊朝食付き)	8,640 円 × 1 泊			8,640		
合 計					54,276	

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 _____

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

領収証 Receipt

No. 05C-032647
G000232077



西東京市議会公明党 様

¥126,360-

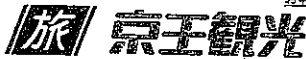
但し、視察費用として

印紙税申告納
付につき四谷
税務署承認済

領収内訳 2018年07月24日 上記正に領収いたしました。
現金 126,360円 京王観光株式会社
取扱窓口：立川支店
TEL. : 042-525-3991

部署印	扱印
	

部署印のないものは無効です



お申し込み内容の変更・取消でご返金が必要な場合は、本領収書を必ずご持参ください

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 21,818 円
- 2 支 払 先 西武鉄道、JR各社、福岡市地下鉄 他
- 3 件 名 7/31-8/1豊後高田市他 会派視察旅費経費
- 4 支払年月日 平成30年7月31・8月1日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 西東京市議会公明党
代 表 者 佐藤 公男



西東京市議会公明党行政視察報告書

1. 視察者 佐藤公男、藤田美智子、大林光昭
2. 視察期間 平成30年7月31日(火) ～ 8月1日(水)
3. 視察先 大分県豊後高田市
大分県杵築市
大分県吉富町
4. 視察内容 ①豊後高田市 「教育のまちづくり」の取り組みについて
説明員 ・河野潔様(教育長)、小川匡様(学校教育課長)
②杵築市 「地域ケア会議」の取り組みについて
説明員 ・江藤修様(高齢者支援課長補佐)、
秋吉知子(医療介護連携課、地域包括支援センター)
③吉富町 コンパクトな「女子集客のまち」推進事業について
説明員 ・奥田健一様(企画財政課長)、岩井保子様(企画財政係長)
乙女竜志様(産業建設課)、
横川清一様、岸本かよ子様(議員)

◆豊後高田市 「教育のまちづくり」(学びの21世紀塾)の取り組みについて

1. 豊後高田市の学校概要

- ・公立保育園2園、公立小学校5校、公立中学校5校、小中一貫校1校
- ・児童数1,005名、生徒数512名

2. 「学びの21世紀塾」の取り組みの背景

完全学校週5日制が始まり、保護者や学校関係者などから学力低下や土曜日の過ごし方に対する不安の声が多く寄せられたことから、地方に住んでいても、都会に住んでいても、学習機会に格差があってはならない、まして家庭の経済的理由で受けられる教育に差があってはならないとの理念のもと、1)いきいき寺子屋活動事業(知)、2)わくわく体験活動事業(徳)、3)のびのび放課後活動事業(体)を柱として平成14年にスタートした。今では、市内の小中学生のほとんどの子どもたちが利用している。

3. 「学びの21世紀塾」の概要

1) いきいき寺子屋活動事業

講座数：86講座、179教室

塾生数：延べ2,732人

指導者数：279人(市民120人、教員等159人)

スタッフ：ボランティア234人(市民等59人、教職員175人)

①土曜日講座

- ・土曜日講座<小学生講座>：各小学校で算数、国語、理科実験教室等の復習
- ・土曜日講座<中学生講座>：全中学校で国語、数学、英語等の復習、受験対策学習等
- ・英会話教室：小学生対象
- ・パソコン教室：小学生対象
- ・そろばん教室：小学校1～3年生対象
- ・少年少女合唱団：小・中学生対象（OB含む）

②水曜日講座：中学校1、2年生を対象に、部活動がない水曜日の放課後に国語・数学・英語のうち1教科を復習。

③夏季・冬季特別講座：夏休み・冬休み期間中の7日間、中学生3年生を対象に英語・数学・国語の復習。

④ステップアップ講座：

夏休み中の5～10日間、算数・国語を中心に復習。小学校1～6年生のすべての子どもが受講可能。

⑤放課後寺子屋教室：

毎週月～金曜日の4日間（水曜日を除く）、小学生4年生以上を対象に宿題等の学習支援。

⑥テレビ寺子屋講座：

加入率90%を超えるケーブルテレビを活用して、「学びの21世紀塾」に通いたくても、時間的・距離的・交通手段等の条件で通えない子どもたちに学習機会を提供。オリジナルテキストを使用。

⑦まなびのひろば

第1・3土曜日に、特別な支援を必要とする児童・生徒を対象に、レクリエーションやおやつ作りを通して、交流を図る。相談活動も実施。

2) わくわく体験活動事業

①週末子ども育成活動

毎月第2・4土曜日に公民館を中心に活動。料理教室、太鼓教室、スポーツレクリエーション教室、環境美化教室など、地域の大人と子どもが触れ合いながら体験的な活動をおこなう。放課後子どもプラン事業や放課後児童クラブと連携した子どもの居場所。

②ステップアップ・スクール

小学校6年生を対象に、長期休業中に2泊3日で宿泊型社会教育施設に滞在し、自然体験活動、制作活動、集団活動や掃除、選択、片付けなどの生活体験活動を協力し合いながらおこない、家庭や地域社会の大切さや支え合う大切さを学ぶ。施設内での特別授業もある。

3) のびのび放課後活動事業

支援団体数：18競技31団体（野球、バレーボール、剣道、ソフトテニス、空手道など）

活動内容：スポーツに関わる指導への支援、スポーツ大会等の開催支援、登録団体への用具等支援、小・中学生への情報提供

4) 学びの21世紀塾市民講座

①調べる学習講座、子ども科学教室（子ども向け）

②健康講座、カメラ講座、メイクアップ講座など（大人向け）

5) 高校生のための学びの21世紀講座

予備校講師による公開特別講座、未来の教師養成塾、土曜特別講座

4. 視察を終えて

ゆとり教育が始まるなど教育環境が大きく変化するなか、豊後高田市で育つ子どもたちが夢を描き、夢を実現できるような教育環境を作ろうと、教育行政、教師、地域、保護者が一体となってさまざまな困難を乗り越えながら創り上げてきた強い信念や情熱が感じられた。

平成25年1月、国は土曜日授業の復活の方針を示し、義家大臣政務官を主査とする「土曜授業に関する検討チーム」を設置、土曜日の教育活動のあり方が審議された。その際、教育長自ら文部科学省のヒアリング、検討チームの会議での「学びの21世紀塾」の詳細説明に対応。下村文部科学大臣の視察により、土曜日の教育活動のモデルの一つとして全国で紹介され、「豊後高田方式」として評価されている。

学びの21世紀塾のみならず、教職員の意識改革（幼小中高の交流）、小中一貫校の設立、英語検定、漢字検定など検定制度の導入など、教育行政が抱えている課題の改善に向けた取り組みが着実に実行に移されている。

本市においても、小中一貫教育の構築、子どもの学習支援、放課後の子どもの居場所づくり、社会教育の充実など大きな課題を抱えており、こうした諸課題に対する教育ビジョンを示し、実行していくことが求められる。豊後高田市における取り組みは、それらの諸課題を網羅的に検討するうえでもおおいに参考になる取り組みであり、今後の本市における各施策への提言に十分生かせる取り組みであった。

◆杵築市 「地域ケア会議」の取り組みについて

1. 杵築市の概要（平成30年5月末現在）

人口：29,696人

世帯数：13,558世帯

高齢者数：10,660人

高齢化率：35.9%

要介護認定率：16.5%（平成29年3月末）

2. 「地域ケア会議」開始の経緯

高齢化の進展に伴って要介護認定率が全国平均を大きく上回っていたことから、介護保険の持続性向上、高齢者のQOLの維持向上のため、「地域ケア会議」を開催。杵築市の要介護

認定率の推移は、開始当初の平成24年3月末の21.2%（全国17.3%）から平成29年3月末で16.5%（全国18%）と、全国平均が増加傾向であるのに対して4.7%減少している。

3. 「地域ケア会議」の概要

開催日：毎週水曜日の午前中（ケース1件当たり30分程度）

参加者：保険者（計画担当者）、地域包括支援センター、ケアマネージャー、介護保険事業所

助言者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士、県保健所保健師

対象事例：

介護予防給付（新規の要支援1・2）、介護給付（福祉用具、住宅改修、例外給付）、地域密着型サービス、介護予防・日常生活総合支援事業、困難事例

会議内容：

各事業所からケアプランが示されるとともに、要支援・介護者の状況や支援状況等の説明。それに対し、専門家である各助言者からのアドバイスを受けながら、ケアプランについてだれが、どこで、いつまでに、なにをおこなうか、を明確にしながらかアセスメントを実施。

4. 視察を終えて

杵築市の「地域ケア会議」では、多職種協働による協議、医療との連携が図られ、要支援・介護者の自立を阻害している要因分析や地域課題の発見、改善策の検討がその場で実施されている。これにより、関係職員のアセスメントやケアプラン作成の資質向上が図られるとともに、アセスメントの標準化が図られている。

介護保険法第二条第二項では、「保険給付は、要介護状態又は要支援状態の軽減又は悪化の防止に資するように行われるとともに、医療との連携に十分配慮して行わなければならない。」としており、第四条では、「国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生じる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び介護サービスを利用することにより、その有する能力の維持向上に努める」としている。

こうした法の理念を踏まえ、要支援・介護者の自立支援を適切におこなうことで、その方のQOL向上を実現し、重度化の予防、ひいては要介護状態から卒業できる支援を各事業が実施している。

本市では、要介護者の重度化が大きな課題となっており、この間、議会においてもケアプラン点検など改善に向けた各種取り組みについて提言を重ねている。今後、さらなる高齢化の進展が見込まれており、介護保険制度を維持していくためにもこうした取り組みは喫緊の課題と言える。本市においても、杵築市の「地域ケア会議」を参考にしながら、さらなる取り組みを進めていくべきである。

◆吉富町 コンパクトな「女子集客のまち」推進事業について

1. 事業実施の背景、経緯

九州一小さい面積である吉富町は、町全体における商業活動が衰退傾向にあったため、住民や来街者を呼び込める魅力や勢いを生み出すことが急務であった。平成25年に完了した駅周辺再開発事業で道路や駐車場が整備されたが、周辺には店舗等がほとんどなく、人の往来は駅乗降客がほとんどであり、賑わいと言えるものはなかった。

平成26年11月の「まち・ひと・しごと創生法」施行に伴い、国において大規模な予算措置が講じられたことから、駅周辺部の活性化と創業者支援による地方創生との観点でチャレンジショップ事業を実施。平成28年3月に第1号店がオープンして一気に来街者が増加し、町のPRにも繋がる効果が認められたため、地方創生推進交付金を活用したコンパクトな「女性集客のまち」推進計画を策定、事業を実施している。

2. 事業の目的

- 1) 「女子集客」をテーマとし、町の中心部を「オシャレな店舗が点在するエリア」として生まれ変わらせ、人の流れ創出・消費流入による商業活性化と、空家問題の解消を狙う。
- 2) 人が楽しみ、そこで過ごすことに喜びを感じられるような企画やイベント・PRをおこなうことで、集客を図るとともに、移住・定住者の増加にもつなげ、町内での交流を活性化し、コンパクトシティを実現する。
- 3) 上記の事業について、行政の手を離れて自走できるだけの資金力と人材を備えた「まちづくり会社」が移譲を受けて実施していくことで、主体的に町の商業を活性化させていく。

3. 事業内容及び目標 (KPI)

1) チャレンジショップ事業

創業を希望する方に低廉な家賃でコンテナ店舗を一定期間貸し出し、事業経営知識の取得や顧客獲得などを支援し、将来的に町内への独立開業を促す。

2) 交流マルシェ事業

駅前に継続的に賑わいを生み出し、出店者や来場者に吉富町の魅力をアピールするとともに、創業希望者のトライアルの場としても活用する。

3) 創業者支援スクール事業

町内外の創業希望者の掘り起こしをおこない、習熟度に応じた適切な講座実施及びサポートにより創業の実現性を高め、町内での積極的な開業を促す。

4) 空家活用店舗事業

主に駅周辺部を中心として地域における空家のうち、活用可能なものについて店舗として改修をおこない、女子集客に資する好感度な優良店業者に貸し出す。

5) まちづくり事業継承組織設立事業

上記事業について、柔軟な発想力・機動力など「民」のメリットを生かして継承発展させるための組織の設立及び人材育成を図る。

6) 駅前拠点情報発信施設整備事業

事業の中心となる吉富駅舎に隣接する場所に、休憩所とトイレを備えた町の情報発信の拠点となる施設を建設し、来訪者の利便性向上及び滞留時間の延長を図る。

< K P I 設定項目 >

①チャレンジショップ及び空家活用店舗の集客数

10,000人/年 → 50,000人/年

②町中心部の商業地面積

5,700㎡ → 8,400㎡

③町中心部の空家率

13% → 10%

4. 業務委託先企業

平成28、29年度 株式会社マインドシェア（東京都港区）

平成30年度 イデアパートナーズ株式会社（福岡市中央区）

5. 視察を終えて

吉富町は、人口6,856人、高齢化率30.29%（平成30年6月現在）、面積5.72㎡と小規模な自治体であり、「黒田官兵衛」や「からあげ」のまちとして強い集客力を誇る中津市に隣接していることから、町内外の消費者が流れてしまい、町の活性化にはさまざまな課題があった。

国において、我が国の人口の現状と将来像を示し、目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」およびそれを実現するための施策などを提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されているが、各自治体においても人口減や高齢化を踏まえた我が町の現状や将来像を住民に示し、将来像やその実現のための施策を提示することが求められる。

本市においても、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して各施策を実行するとともに、地方創生交付金を活用した「ハンサムママ・プロジェクト」を実施するなど、地方創生の取り組みをおこなっている。規模の違いはあれども、女性の活躍や民間活用などの視点は今後重要であり、空き家対策など複合的・横断的に課題に取り組む視点も重要だと考える。本市では、これから総合計画後期計画の見直しが予定されており、今後の議論に大いに参考にしたい。

以上

第80回全国都市問題会議 佐藤公男議員 旅費

期 間 平成30年10月11日(木)～12日(金)

会場 新潟県 長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡
 会議名 「第80回全国都市問題会議」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
10月11日	ひばりが丘団地西口	ひばりヶ丘	西武バス	1.9	186	
	ひばりヶ丘	池袋	西武池袋線	16.4	267	
	池袋	上野	JR山手線	8.7	8,740	乗車券4,750円 特急券3,990円
	上野	長岡	JR新幹線Maxとき 305号 新潟行き	267.0		
	1日目 合計			294.0	9,193	
10月12日	長岡	上野	JR新幹線とき 368号 東京行き	267.0	8,740	乗車券4,750円 特急券3,990円
	上野	池袋	JR山手線	8.7		
	池袋	ひばりヶ丘	西武新宿線	16.4	267	
	ひばりヶ丘	ひばりが丘団地西口	西武バス	1.9	186	
	2日目 合計			294.0	9,193	
合 計 (距離・交通費)				588.0	18,386	(直行・直帰)
日 当	2,500 円 × 2 日				5,000	
宿泊費 (1泊朝食付き)	9,000 円 × 1 泊				9,000	長岡ターミナルホテル
参加費					10,000	
合 計					42,386	

※事務局へ(新幹線代)

17,690円

←往路東京駅からの特急料金差額210円は自己負担

※JTbに支払(参加費・宿泊費)

19,000円

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

31-1-17		繰越残高	*659,619*
30-8-20	振替	普通預金利息 *3	*659,622*
30-8-27	振替	*7,076 CSS(カ)1416	*652,546*
30-8-28	振替	*1,813 RKS(カ)1416	*650,733*
30-9-6	振替	*4,890 SMBC(ト)1416	*645,843*
30-9-19	振込	*19,000 A)JTB	*626,843*
30-9-19	振替	*216 振込手数料	*626,627*
30-9-19	現金	*6,000 (667)カード	*620,627*
30-9-19	現金	*18,000 (667)カード	*602,627*
30-9-27	振替	*7,092 CSS(カ)1416	*595,535*
30-9-28	振替	*1,813 RKS(カ)1416	*593,722*
30-10-29	振替	*7,453 CSS(カ)1416	*586,269*
30-10-29	振替	*1,813 RKS(カ)1416	*584,456*
30-11-5	振込	*24,000 A)JTB	*560,456*
30-11-5	振替	*216 振込手数料	*560,240*
30-11-20	現金	*13,000 (667)カード	*547,240*
30-11-27	振替	*7,076 CSS(カ)1416	*540,164*
30-11-28	振替	*1,813 RKS(カ)1416	*538,351*
30-12-6	振替	*4,890 SMBC(ト)1416	*533,461*
30-12-27	振替	*7,093 CSS(カ)1416	*526,368*
30-12-28	振替	*1,813 RKS(カ)1416	*524,555*
31-1-21	現金	*10,000 (667)カード	*514,555*
31-1-28	振替	*7,076 CSS(カ)1416	*507,479*
31-1-28	振替	*1,813 RKS(カ)1416	*505,666*

【留意事】

- この用紙は、領収書の代りに使われず、領収書と一緒に添付してください。



- この【留意事項】は、領収書の代りに使われず、領収書と一緒に添付してください。



西東京市議会 公明党 様

請求書番号 134

発行日 2018/09/13

請求書

株式会社JT
長岡支店
第80回全国都市問題会議係
支店長 大崎 剛彦
担当
TEL 0258-35-3315

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

2018/09/28 までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額
第80回全国都市問題会議 会議参加費@10,000円	1	¥10,000
合 計	1	¥10,000
内 入 金 額		

ご請求額

¥10,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座	
【銀行名】	【支店名】
【預金種別】	【口座番号】
【口座名義】	【お客様番号】 134

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。



西東京市議会 公明党 様

請求書番号 134

発行日 2018/09/13

請求書

株式会社JTB
長岡支店
第80回全国都市問題会議係
支店長 大崎 勇
担当 [Redacted]
TEL 0258-35-3315

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

2018/09/28 までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額
10/11(木) 長岡ターミナルホテル シングル @9000	1	¥9,000
合 計		¥9,000
内 入 金 額		

ご請求額

¥9,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】
【預金種別】
【口座名義】



【支店名】
【口座番号】
【お客様番号】 134



* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

1. 金 額 906 円
2. 支 払 先 西武鉄道、西武バス
3. 件 名 10.11-12 全国都市問題会議参加旅費経費
4. 支払年月日 平成30年10月11・12日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 西東京市議会公明党
代 表 者 佐藤 公男

会派視察報告書

1. 会派名 西東京市議会公明党
2. 参加者 佐藤公男
3. 視察日程及び視察先
2018年10月11日(木)・12日(金) シティーホールアオーレ長岡
4. 視察内容
第80回全国都市問題会議
テーマ：市民協働による公共の拠点づくり

【第1日目】

- 開会式
- 基調講演 「地方分権へのまなざし」
本郷 和人 東京大学史料編纂所教授
- 主報告 「長岡市の市民協働」
磯田 達寅 長岡市長
- 一般報告 「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」
前葉 泰幸 三重県津市長
- 一般報告 「場所の時代」
建築家 隈 研吾 東京大学教授

【第2日目】

- パネルディスカッション
「市民協働による公共の拠点づくり」
牛山 久仁彦 明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授
- 「シビックプライド醸成のコミュニケーションポイントから考える『拠点』」
伊藤 香織 東京理科大学理工学部建築科教授
- 「子育て支援から見た公共の拠点づくり」
奥山 千鶴子 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
- 「長岡の市民主体のまちづくり」
羽賀 友信 長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
- 「地域包括ケアを支える新たな拠点づくりーNPOとの連携ー」
松本 武洋 埼玉県和光市長
- 「人・モノ・金の好循環を目指して」
楠瀬 耕作 高知県須崎市長

- 閉会式

5. 概要

【1日目】

○基調講演 東京大学史料編纂所教授 本郷 和人氏 「地方分権へのまなざし」

はじめに、小学校の教育課程においてすでに、「古代の昔から日本は統一国家であった」という歴史教育を受けているが、果たして本当に日本は古くから都を核としてまとまる中央集権国家だったのかとの問いから始まった。

そして歴史をたどりながら、日本の独特な形だけの中央集権を形成する中で、劇的な変化を遂げたのが江渡幕府の出現であった。

それぞれの藩、それぞれの地域における教育があり、英才が育てられたことが最も大きい。

そして明治に入り、世襲に囚われずに英才を登用したことにより、「立身出世」を良しとする風潮になり、東京に各地の英才が集ってくることになる。

ここに近代の中央集権の核が作られた。

しかし、これにより 300 万人の犠牲を出した太平洋戦争の原因となったのかが議論させるべき。過度の受験秀才の重用をどのようにとらえるべきなのかは意見の分かれるところである。

「変革」のキーワードとして、「黒船」と例えると、「黒船」が来ないことにより、日本の歴史が弛緩し、「黒船」が来ることにより、歴史は変革を志す者が登場することになる。

ということは現代の「黒船」とは何か。

それは、「人口減少社会」ということではないだろうか。その克服のためには、明治の中央集権とは逆の地方の自治権を強く後押しすべきである。地方からのボトムアップこそが、新しい日本を支えていくことになると思う。

○主報告 磯田 達実 長岡市長 「長岡市の市民協働」

● 長岡市の紹介

新潟県のほぼ中央に位置し、平成の大合併により県内 2 番目の人口を有する。

市の中央部に信濃川、東西に東山連峰と西山丘陵、海岸部には寺泊地域がある。「日本三大大花火」に挙げられる長岡まつり大花火大会、国指定重要文化財「火焰土器」、全国 2 位の酒蔵数を誇る日本酒、長岡発祥の錦鯉など地域資源多数。平成 16 年の新潟・福島豪雨、中越地震からの復興へのまちづくりを進めてきた。

● 長岡市の歴史

平成 30 年、牧野家初代長岡藩主・忠成よる開府から 400 年、北越戊辰戦争から 150 年と節目を迎えた。

北越戊辰戦争に敗れ、三根山藩から贈られた百俵のコメを教育の大切さから国漢学校設立に充てた「米百俵」。「何事も基本は人。人づくりこそすべての根幹」との考え方は、現在にも繋がる。また、同時期に培われた「士民協働」でのまちづくりの気概によって、殖産興業のイノベーションを創り出すことで復興を遂げ、今ある長岡の礎を築く。

● 長岡市の市民協働

長岡の市民協働は、「市民が主役、行政は黒子」との精神で進める。多くの検討委員会

では、ワークショップ、市民の声を反映し、平成 24 年、市民協働条例を制定。また、同年に開設した「ながおか市民協働センター」は、市と NPO 法人が協働で運営し、市民の自発的な活動や団体の立ち上げ・運営の相談を受け、団体間の連携をコーディネートしている。

- 長岡市の人づくりと未来への投資～新しい米百俵～

平成 27 年「ながおか・若者・しごと機構」を設立し、若者が活躍できるまちづくりを進める。

JR 長岡駅前再開発事業において、3 大学 1 高専から、「NaDeC 構想」の提案を受け、市・3 大学 1 高専・商工会議所 6 団体による推進コンソーシアムを設立し、再開発事業の先行実施施設として、「NaDec BASE」を開設。産学連携のためのオープンコラボスペース、3D プリンター等を備えたものづくり工房、フリーのワーキングスペースを整備し、「ながおか・若者・しごと機構」の事務室を開設。

○一般報告 前葉 泰幸 三重県津市長

「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」

- 住民自治の伝統

三重県津市は、明治 22 年に日本で初めて市制施行した 31 市の一つ。10 市町村の合併により人口 28 万人、711 km²。

「自分たちのことは自ら決める」との自治の伝統を得て、現代においても住民の市政への関心が高いまち。

- 公共施設マネジメントにおける市民との意思疎通

住民自治の伝統を踏まえ、市民との意思疎通に留意した公共施設マネジメントを進める。新市まちづくり計画の 4 大プロジェクトのうちの 3 つの公共施設

- (1) 津市斎場「いつくしみの杜」

既存の 3 つの斎場を統合整備。PFI (BT0 方式) を初採用。

- (2) 津市一般廃棄物最終処分場

平成 28 年、65 億円事業として完成。

- (3) 津市産業・スポーツセンター

平成 25 年入札不調。80 億から 133 億に増やした結果、4 度目で落札。

「不都合な真実」のあぶり出し

- (1) 津センターパレスビル

昭和 60 年、中心市街地活性化のため、旧津市役所跡地に建設。

平成 7 年キーテナントの撤退で 10 億 3500 万の債務。

市が第三セクター会社から 6 億 5 千万円でビルの一部区分所有権を購入し、津市中央公民館、まん中老人福祉センター、まん中こども館、障がい者相談支援センターを開設。

- (2) ポルタひさいビル

旧久居市も同様に、久居駅に直結するポルタひさいビルも平成 16 年に破たん。

平成 26 年、第三セクターを処理、3 つの公共施設を安価に開設。

「市民との対話から聞き取った思いや願いを反映した公共施設を作れ」

- (1) 義務教育学校「みさとの丘学園」

- (2) 認定子ども園「津みどりの森子ども園」

● これからの公共施設マネジメント

主役は市民。津市の資産である公共施設の姿を決めるのは主役である市民。引き続き、市民の思いを把握し、その願いをかなえる公共施設マネジメントの実現に向け、市民との対話と連携により取り組む。

○一般報告 建築家 隈研吾 東京大学教授
「場所の時代」

本会議の主会場となる「アオーレ長岡」のほか、新国立競技場の設計など多数のプロジェクトに携わる隈氏の建築哲学の披歴と手掛けた公共建築の事例紹介。

場所が主役とする時代が到来し、それに呼応する形で「DOMA (土間)」をイメージした広場を主役とする「アオーレ長岡」の設計を行う。

20世紀は、建築が世界を流通する巨大な商品と化した時代。

1990年代の不況を経て、その場所でしか手に入らない材料、職人、気候と環境、本当に必要とされる建築へと変貌。

そして、地域に根差した企業が生き残る時代へと転換し、「小さな場所の力」が見直されている。

【2日目】

○パネルディスカッション

「市民協働による公共の拠点づくり」

コーディネーター 牛山久仁彦 明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授

①「人・モノ・金の好循環を目指して」楠瀬耕作 須崎市長

全国平均より高齢化が10年早く進む須崎市。

「持続可能なすざきづくり」

●自主防災組織・7地区の地域自主組織

南海トラフ地震等に対峙するため

●須崎未来塾～まちづくりのエンジン

地域資源と人とのマッチアップ。終了生からは起業創業する人も増加

●市街地再生～空き家利用

人の流れを取り戻し、身近に感じる芸術「まちかどギャラリー」

●集落活動センター「あわ」

①教育協働部会②移住促進部会③観光交流部会④特産品部会⑤高齢者福祉部会

②「地域包括ケアを支える新たな拠点づくり」松本武洋 和光市長

東京都の隣町として立地から、昼間には3万人の市民が都内で働いている。基地の跡地に研究施設が多数存在するほか、自然・農地も多く住みやすいまちで人口は増加傾向。高齢化率16.9%、介護認定率9%台と元気高齢者も多く、健康長寿のまちづくりを進めている。

る。

市民協働による公共の拠点づくり

● まちかど健康相談室

管理栄養士や看護師が常駐。高齢者の居場所、健康学習の場、地域包括ケアの推進に貢献

● もくれんハウス

乳児と保護者が集う。わこう版ネウボラ制度の役割を担う。

③「シビックプライド醸成のコミュニケーションポイントから考える拠点」

伊藤香織 東京理科大学理工学部建築学科教授

都市に対する市民の誇りを「シビックプライド (civic pride)」と呼ぶ。郷土愛とニュアンスを異にするのは当事者意識に基づく自負心であるところ。このシビックプライド、イギリスでは都市の規範であったと言われるが、現代においては、政治参加やボランティア活動、地域イベントによる積極的社会参加、地域プロスポーツチームの応援などがその表れの例として挙げられる。また、建築や公共空間、デザインなどにも表れてくる特性を有し、市民と都市の接点となるものを「コミュニケーションポイント」と呼ぶ。

ドイツ・ハンブルクの「ケッセルハウス」は、都市情報センターとして展示、ディスカッションやイベント開催、現場見学ツアー拠点の機能を持ち、カフェも併設され来訪者のいこいの場としてシビックプライドセンターと呼ばれる。まちの開かれた居心地の良い場所をつくり、目的を持つ人以外の目にも触れ、何らかの要素を感じる接点を用意する、これからの時代はそのような拠点づくりが求められている。

④「子育て支援から見た公共の拠点づくり」

奥山千鶴子 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

同団体で行った全国アンケートでは、自分の生まれ育った土地以外で子育てをする母親は全国平均で 72.1%と子育て家庭の流動性は高い状況。この「アウェイ育児」の状況は孤立した子育てに繋がりがやすい。

所属する NPO 法人では、地域子育て支援拠点事業としての「つどいの広場事業」を横浜市から受託。市が進める協働の取り組みにも連動し、子育て支援とともに施設や活動のネットワーク化や人材育成にも取り組む。これからも各地域の課題共有と具体的な事業の立ち上げを担う子育て支援団体として尽力する所存で、市町村にはそのチャンスと育成を望む。

⑤「長岡の市民主体のまちづくり」

羽賀友信 長岡市国際交流センター地球広場 センター長

長岡の基盤・もともとの考えの根底には、山本五十六も座右の銘とした長岡藩・藩是の「常在戦場」がある。まちが起きるも人、転ぶも人、教育第一主義だ。過疎化・高齢化・被災地の「三重苦」に喘いできた長岡では「自分たちの事は自分たちで」とのことから、NPO がいくつも立ち上がり、協働の取り組みを大地震が加速化した格好にもなった。

平成 23 年、東日本大震災の支援のため「長岡協働型災害ボランティアセンター」がスタート。専門性の高い団体と社会福祉協議会が連携して緊急支援を行う。同年、市内の 3 大学等と市が連携した「まちなかキャンパス長岡」が設置され、「まちなかカフェ」、「まちなか大学・大学院」、「まちづくり市民研究所」など学びのプロセスを持つ。市内 13 カ所の「子育ての駅」も官民協働で運営され子育てを孤立させない手厚い対応を行っている。これら取り組みも含め、「アオーレ長岡」などの設置を契機として市協働の活発化が進行している。

今後は、産・官・学・金の連携をさらに深めたビジョンと政策の立ち上げが望まれる。それらの自由な発想のもと市の中心部に本年オープンした「NaDeC BASE」でのイノベーションにより、未来の起業家の育成にチャンスを与えてくれることを期待している。

6. 会議に参加して

今回の都市問題会議の会場となった長岡市は、以前に一度来たことのある市であるが、その際にも市役所のあるアオーレの存在感、休日にも市役所をオープンしている 365 日開庁、1 階の議場がガラス張りで見えやすいこと等、非常に興味深い市である。

米百俵の精神を現代に受け継ぎ、地元意識が自主独立＝自分たちのことは自分たちで決めるという地域自治に根付いていることに感嘆した。

市民協働が進む淵源があることの大きさ、また、本市のような新住民が多い自治体はどのようにすべきなのかを考えさせられた。

また、今回は「場づくり」が共通テーマであった。

市民協働の場、交流の場、子育て支援・高齢者の居場所としての場。これら全国的な課題は、先進事例を見ることが最も重要であり、我々議員が調査し、提案していかなければならない立場だと考える。

今回の会議をきっかけとして、さらに調査・提案をしていきたい。

第13回全国市議会議長会研究フォーラム 藤田美智子議員 旅費

期 間 平成30年11月14日(水)～15日(木)

会 場 栃木県 宇都宮市文化会館

会議名 「第13回全国議長会研究フォーラム」

日 付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金 額	備 考
11月14日	東伏見	高田馬場	西武新宿線	13.3	237	
	高田馬場	池袋	JR山手線	2.1	1,940	
	池袋	宇都宮	JR湘南新宿ライン	101.8		
	1日目 合計			117.2	2,177	
11月15日	宇都宮	池袋	JR湘南新宿ライン	101.8	1,940	
	池袋	高田馬場	JR山手線	2.1		
	高田馬場	東伏見	西武新宿線	13.3	237	
	2日目 合計			117.2	2,177	
合 計 (距離・交通費)				234.4	4,354	(直行・直帰)
日 当	2,500 円 × 2 日			5,000		
宿泊費 (1泊朝食付き)	上限額	16,000 円 × 1 泊		16,000		差額自己負担
参加費				7,000		
合 計					32,354	

領収書添付用紙

整理番号

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

調査研究費	
視察研修費	○
広報費	
広聴費	
資料作成費	
資料購入費	

【内容説明欄】

第13回全国市議会議長会研究フォーラム 宇都宮

平成30年11月22日

西東京市議会公明党 御中

参加費領収書

第13回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員

委員長 山田

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第13回全国市議会議長会研究フォーラム 宇都宮
参加代金として

平成30年11月14日・15日開催 (宇都宮市)



西東京市議会公明党様

請求書番号 0513

発行日 2018/10/24

請求書

株式会社JT
 宇都宮支店
 第13回全国市議会議長会
 研究フォーラム in 宇都宮
 担当
 TEL 03-5396-8165

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
 このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

11月8日(木) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
 お早めにご連絡をお願いいたします。

0513

ご請求内訳	人数	金額
参加代金		¥7,000
合計		¥7,000
内入金額		

ご請求額

¥7,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】
 【預金種別】
 【口座名義】

【支店名】
 【口座番号】
 【お客様番号】0513

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

領収書

調査研究費	
視察研修費	
広聴費	
広聴費	
資料費	
資料費	
事務	

【領】

領収個所名及び領収者印の無いもの並びに金額訂正のものは無効です。

領収証

RECEIPT

No.05130-01

J T B 宇都宮支店

宇都宮市池上町4-1

TEL: 028-614-2001

平成30年11月26日

西東京市議会公明党 御中

下記の金額正に領収いたしました。

¥17000*

出納責任者	取扱者
[Redacted]	[Redacted]

第13回全国市議会議長会研究フォーラム
但し、宿泊代金として

【領】

2 2



西東京市議会公明党様

請求書番号 0513

発行日 2018/10/24

請求書

株式会社JTB
 宇都宮支店
 第13回全国市議会議長会
 研究フォーラム in 宇都宮
 担当 [REDACTED]
 TEL 03-5396-8165

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
 このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

11月8日(木) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
 お早めにご連絡をお願いいたします。

0513

ご請求内訳	人数	金額
宿泊代金		¥17,000
合 計		¥17,000
内 入 金 額		

ご請求額

¥17,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 [REDACTED] 銀行
 【預金種別】 [REDACTED]
 【口座名義】 [REDACTED]

【支店名】 [REDACTED] 支店
 【口座番号】 [REDACTED]
 【お客様番号】 0513

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮

0513

藤田 美智子 様

0513-1

手配内容確認書

今回お申込を承り、お手配させていただいている内容は以下のとおりです。

●フォーラム

開催日	参加会場	参加料金
11/14(水)・15(木)	大ホール	¥7,000

●宿泊プラン

ご利用日	ホテル名	部屋タイプ	宿泊料金
11/13(火)			
11/14(水)	ホテルアール・メッツ宇都宮	シングル	¥17,000
11/15(木)			

※1泊朝食付(税金・サービス料込)

●視察プラン

ご利用日	コース名	視察料金

●JR

ご利用日	区間	JR料金

※宿泊施設の詳細、及び視察コースの詳細及び行程は同封の「参加のご案内」をご参照ください。
 ※この書面は、宿泊施設でのチェックインの際にフロントにご提示ください。また、視察コース参加の際にはJTB係員にご提示いただきますようお願い申し上げます。
 ※JR券をお申込の方は、同封のJR券を事前にご確認ください。尚、ご予約の指定席に変更が生じる場合は「みどりの窓口」にてお手続きをお願いします。ただし、乗車変更は1回に限り有効です。

〒170-0013
 東京都豊島区東池袋3-23-14 6F
 (株)JTBビジネスネットワーク内
 【第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮】デスク
 電話: 03-5396-8165 FAX: 03-5396-8140
 メール: shigikai2018utsunomiya@jbn.jtb.jp
 営業時間: 9:30-17:30(土日祝休)

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 4,354 円
- 2 支 払 先 西武鉄道、JR東日本
- 3 件 名 11.14-15 全国市議会議長会研究フォーラム参加旅費経費
- 4 支払年月日 平成30年11月14・15日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 西東京市議会公明党
代 表 者 佐藤 公男

視察報告書

視察日 平成30年11月14日(水)～15(木)

視察先 第13回全国市議会議長会研究フォーラム(宇都宮市文化会館)

主催：全国市議会議長会

後援：総務省

実施：第13回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

視察者 西東京市議会公明党 藤田美智子

【第1日目】

第1部 基調講演 宮本太郎 中央大学法学部教授

「地域共生社会」をどうつくるか～2040年を越える自治体のかたち～

【講演の要旨】

自治体が直面する2040年問題は、重量挙げ化と漏斗化で支え合いが非常に厳しくなる。高齢世代は困窮化と孤立化で、人生100年時代を心から楽しめず、ひととき重い存在になる。減少する現役世代は、経済的にも社会的にも支える力を発揮できない。支える側は、肩車ではなく重量挙げ。一方、地方は高齢人口が減るが、現役世代が流出し、それが漏斗の下に移る。そこが東京。

東京は、人口規模が維持か、増える。しかし、85歳以上の人口が3割以上となり、子どもを産み育てることが難しく、出生率は低い。そこに人口が集中し、漏斗の底に水が溜まり、抜ける。

これからの地域福祉は、雇用の不安定感が進むので、支援をすればみんな地域でがんばって力を発揮できるようにする。困難を抱えた人を元気にし、活躍の場を創る。地域づくりの新しい目標が「地域共生社会」。縦割りを越え、支え手、受け手の二分はやめ、みんなを元気人口にする。

自治体は何をすべきか。1番目は、元気人口を作り出すための「誰もが人財のまちづくり」。特に定年後の男性高齢者が地域のお荷物になるか、資源になるか重要。2番目は、定年後男性の地域デビュー支援で、高齢人口が生涯活躍できる場、「ずっと出番のあるまち」をつくる。人間は生殖機能を終えた個体がずっと長生きする「おばあさん仮説」があり、高齢者が自らの出産・育児経験を伝えるという本質を発揮してもらおう。最後が、つながりづくり。地域で活躍してもらおう中で出てくるつながりは、新しい縁、必要縁で、この縁が私たちを幸福にしていく可能性は高い。

2040年問題恐るるに足らず。元気人口を増やすには、福祉、雇用など制度改革が必要。ピンチをチャンスにできたとき、2040年が辛い時代ではなく、これを越えることができれば、大きくその先の未来の見晴らしが開けてくる。そういう分岐点に私たちがいる。

第2部 パネルディスカッション「議会と住民の関係について」

コメンテーター：江東俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授

パネリスト：今井照 地方自治総合研究所主任研究員

パネリスト：本田節 有限会社ひまわり亭代表取締役(元熊本県人吉市議)

パネリスト：神田誠司 朝日新聞大阪本社地域報道部記者

パネリスト：小林紀夫 宇都宮市議会議長

【パネルディスカッション概要】

江藤 議会と住民のあり方、議会の役割について発言を。

本田 議員は住民、コミュニティーの中に入っていかなければ。聞くと言う場面が少ない。議員は人格、使命感を持ち、住民自治の根幹として情熱と誇りを持ち、実践、行動で住民参加型のまちづくりに積極的に関わることだ。

神田 議会が地域社会を代表するような組織たりえているのか疑問。鳥取県日野郡に、当時の方山田知事の発案で、公募住民から女性、若者ら多様な委員を選ぶ郡民会議を作ろうとした。県議会が「それは議会の役割だ」ともめた。指示には設置理由を「議会は高齢者と男がほとんどで、

多様な住民を代表する組織になっていない」と言った。現状は変わらず、会場に女性は少ない。先進議会の議会報告会は、大切なのは住民の話を書くことだと言う。

小林 議会には執行権がない。戦前は一元制、議員執行部制で、議長から首長が選ばれた。一元制で議員は住民と近くなる。宇都宮市議会は45人の大選挙区で、その中の1人を選挙で選ぶが、大選挙区回収で政令市のように複数の選挙区の方が住民に寄り添っている。

今井 議会は、多様に存在する機能的な市民活動とのつながりを考えた方がいい。ある市民活動団体が、法律に基づかない事務処理にクレームをつけ、議会で審議をした。市民活動の側は議会を応援するつもりが、請願は棄却された。地域の中で自治体の政治が見えづらい。市民運動との連携で議会を展開し、自治体政治の総量(議員×時間)を上げる活動をした方がいい。

神田 多様な民意を聞いたら、政策を練って実現させることがセット。何を優先させ、どんな政策にするかは、議員の自由討論によるチーム議会が必要。住民に議員便りを読んでもらえるように充実させる。多様なチャンネル、回路で、多様な意見を組むことだ。

小林 なり手不足の解消には、任期の延長が必要。誰が4年と決めたのか。議長の長期間の課題もある。副市長に議員を就任させる方法などで権能を高める。

本田 こういうフォーラムや研修会、政務活動費をどう有効に使って勉強していくか。学びを多くしないから、住民とともに歩むと言う原点を忘れないで。若者が政治に関心を持ち、故郷に誇りが持てるようなまちづくりをしていくことが、議員のミッションだ。

今井 これだけ多様な市町村がある中で、1つの自治制度でやれるわけがない。宇都宮市が選挙区を設けると言うのは非常に重要な提案で、先頭をきってやってほしい。

江藤 議決権を持った議会の役割は大事。地域経営で重要な権限を持っているのは理解であって首長ではない。議会側から仕掛ける主権者教育も考えなくてはいけない。来年、統一地方選挙があり、選挙の意義、議会の役割を住民とともに議論していきたい。1950年に公職選挙法が成立して、地方自治法にあった地方選挙もそこに入った。地方自治法に戻したり、地方選挙の法律を作ったり、柔軟にしていく議論もしていきたい。

【第2日目】

課題討議 「議会と住民の関係について」

コーディネーター：江東俊昭山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授

事例報告者：桑田鉄男 久慈市議会副議長

事例報告者：伊藤健太郎 新潟市議会議員(新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチームリーダー)

事例報告者：ピアンキ アンソニー 犬山市議会議長

事例報告者：道法知江 竹原市議会議長

【課題討議概要】

江藤 住民と密接に関係する議会をどうやってつくるか。現場で悩み、実践されている4人の方と論点を深めていきたい。

桑田 議会改革で市民と議会が協働し、市制課題を話し合う「かだつて会議」を始めた。「語る」「一緒にやる」を意味し、年配男性に偏った議会報告会の反省から、参加者は働き盛り、子育て真っ最中の世代がターゲット。議会は平均年齢が65歳以上で、議会に届かなかった若い層の声を聞きたかった。参加した高校生は、地元に残る選択肢を得た。参加者には、その後議員になった人もいる。

伊藤 中高生を対象にした主権者教育推進プロジェクトのきっかけは、「議員って何をやってるのかわからない」と言われたこと。選挙権年齢の引き下げがあり、前回選挙での初当選議員が集まり、学校と共同での実施を発案。前議長の強いリーダーシップで、市議会として対応することになり、地域課題を一緒に考え、合意形成の難しさ、大切さを一緒に学ぶ。アンケートで市議会への関心が19%だったものが、92%に激増した。

ピアンキ 市民に役立つ議会になるように、議員間討議推進、政策提案力向上、市民参加に力を入れている。市民フリースピーチ制度は、市民参加の根本的なもの。定例会の会期内の平日夜、日曜朝に行い、市民が事情で全議員の前で5分まで発言。議員間討議で取り上げ、対応を決め

る。市民の発言が改善につながれば、市民はより興味を持ち、投票率、なり手問題の解決にもつながる。道法 子育てしながら感じたのは、物事を決めるのはほぼ男性で、女性の声が届かないこと。女性の声を政治に届けたいという思いが膨らんだ。議員になって、乳がん、子宮がん撲滅の検診の助成を求め、全国に先駆けて導入となった。市民から言われたのが「議会は何をしているのかわからない」。議長に就任し、開かれた議会にした。政治家は、生活者の声を受け止め、伝えていく仕事。女性の潜在能力、得意分野は、命を産み、慈しみ、育む心。声を聞く、コミュニケーション能力、暮らしに身近な政策提言。政治こそ、女性の力が必要だ。

桑田 議員も住民の側に出て行き、同じ目線で話をする、意見を聞くことが大事。

伊藤 大学での議会報告会がお勧め。学生は前向きな意見を出す。なり手不足に特效薬は無い。主権者教育を受けた子が議員に関心を持ってくれれば。議会事務局の職員と予算を増やしてほしい。

ビアンキ 市民と一緒に課題を取り上げて解決すれば、市民に魅力がわかる。キーンをやりながら生活できる位の報酬がないと、一生懸命できない。議会事務局は大事で、職員4人になると本当に足りない。議員を減らして事務局員を増やしたほうがいい。

道法 多種多様な意見を汲み取るためには、どうしても女性の参画が必要。議会事務局に支えてもらっており、小さな市だと、法務に精通した方は少なく、法務担当がいればいい。

江藤 住民と議会の関係を強化し、議会の魅力をしっかりつくる。議会の干支力、政策提言が大事で、権力、権限は議会のほうにあることを住民がわかることが必要だ。議会本体を解放するという、犬山市議会の市民フリースピーチなどが主権者教育にもつながる。議会が外、学校に出向き、まちづくりが主権者教育と連動する。議会便りモニターの形で、応援団を作ることも大事だ。

以上